

## 2019年 アジア太平洋地域ユースコンボケーション(AYC)

### 西日本区より4名の参加者が決定

2019年7月17日～21日の5日間、「2019年 アジア太平洋地域ユースコンボケーション(以下AYC)」が開催されます。AYCは、18歳～39歳までのアジア太平洋地域各国のユースが集い、ワークショップに積極的に参加し、各国の現状・文化紹介などを通じて、世界の平和な未来づくりについて話し合うカンファレンスです。アジア太平洋地域各地から集う若者達が共に学び楽しむ事によって、国際的な見識と国境を越えた友情を育む、大いなる成長の場です。さらに、国際から国内各地域のレベルに至る様々な情報に触れる事によって、ワイズメンズクラブやYMCAについての理解を深めていただく機会です。

5月30日現在のクラブ推薦者は4名(京都部2名、九州部2名)です。参加ユースには推薦クラブを通じてYサ資金による支援をおこないます。

### 1週間の募集期間延長が決定しました

募集期間を6月9日(日)まで延長しました。参加者をご推薦いただきますようお願い申し上げます。開催要領については、各部・各クラブへご案内を送付しておりますが、西日本区Yサ・ユース事業主任 人見晃弘まで直接お問い合わせいただいても結構です。是非ご検討下さい。大会ウェブサイト( <http://ys-asia2019.ne.jp/jp/youth.html> )もご参照下さい。



### ・各部におけるYYYフォーラム開催支援

各部で開催されたYYYフォーラムの報告書を、京都部(2019年4月15日開催)、阪和部(2019年3月23日開催)の順にご紹介致します。(報告書は次ページから)

以上、今年度は7部で開催していただきました。関係各位へ感謝申し上げます。

YYYフォーラム開催にあたり、西日本区の皆様にご協力いただいております、YMCA サービス・ユース資金から支援を行っております事をご承知おき下さい。

## 2018-1019 年度京都部 Y Y Y フォーラム 報告書

2019年5月17日

Yサ・ユース事業主査

松崎 和彦 (京都トゥービークラブ)

実施日：2019年4月15日 (日) 19:30~21:00

実施会場：京都YMCA地下マナホール

参加者：49名 (ワイズメン42名、メネット1名、YMCAスタッフ2名、リーダー4名)

事業目的：ワイズとリーダー、ユースとの意見交換、交流を通して、どのようにすれば仲間を増やし、定着してもらえるかを立場、世代等を超えて共に考える。あわせてワイズメン、ユース、YMCAとの今後のより良い関係を考える。

事業内容：京都ハンナリーズの安田良平様にご講演いただき、その後、グループディスカッションをしました。詳しくは以下の通りです。

### 1 講演会を含む前半

- ① まず、川上京都部部长、人見西日本区Yサ・ユース事業主任にご挨拶いただきました。
- ② その後、京都ハンナリーズの広報担当取締役である安田良平様に「京都ハンナリーズのマーケティング事例から、人を集める秘訣のすべて」と題してご講演いただきました。

安田様は、サンフレッチェ広島、楽天イーグルス、西武ライオンズ、横浜 DeNA において集客増を成し遂げ、その後、その実績を買われてプロバスケットボールチーム京都ハンナリーズの広報担当取締役にられました。人集めのプロにご講演いただくことによって、ワイズやYMCA、ユースの各人に、魅力あるクラブ作りなどに役立ててほしいという思いがありました。

安田様からは、やはり人が重要であること、信頼関係を築くには時間がかかるが、信頼関係がなくなるのはあっという間であること、バスケットボールチームとしては女性客の集客増に勤めたこと (男性客は一人で観戦に来るが、女性客は必ず家族や友人を連れてくるそうです)、ターゲットを絞る必要があること、現状を数値化する必要があること、あとはストーリーが大切であることなど、為になるお話を伺いました。

クラブとしては、ターゲットを絞ること、ストーリーが大切であることあたりが使えるのではないかと思いました。クラブとしてどんな人材が欲しいのか、自クラブがどんなクラブなのか、人に話せるようなストーリーを考えてみるとアピールになるのかなと思いました。

### 2 グループディスカッションを含む後半

- ① 安田様の講演を聞いたあとは、1グループ10名ほどのグループを5つ作って、グループ

ディスカッションをしました。ディスカッションのテーマとしては、i ワイズメンと YMCA の今後のより良い関係を考える ii ワイズメンとユースの関係について考える（ユースをいかにワイズメンズクラブに迎え入れ、育てるか）の2点としました。

安田様の講演を踏まえて議論していただくことを想定していましたが、より自由闊達な意見を出していただくことを重視しました。せっかく年に1度YYYの三者で集まる機会なので、三者の関係を議論していただきたかったのです。各グループに1名はユースリーダーが入るようにしました。

30分弱の間グループディスカッションをしましたが、5つの各グループから、以下のような意見が出ました。

- ・ リーダー卒業後に、定期的に卒業リーダーの OB/OG 会を実施し、その中でワイズメンズクラブの説明会をすればいいのではないかと。OB/OG 会があれば、卒業リーダーが帰ってこられる場所となり、ワイズメンズクラブの説明を受ければ相互理解にもなる。OB/OG 会を通して、YMCA とワイズメンズクラブの関係性もより深くなるのではないかと。
- ・ リーダーに、ワイズメンズクラブの例会に来てもらい、リーダーの活動を聞く。Yサ事業の中で交流する。そうすることでワイズメンとリーダーが知り合い、交流できることになる。関連して、コメントをYサ事業に参加させることで、YYYのつながりができていくのではないかと。
- ・ ワイズとリーダーが、お互いに事業に参加し合うことが大事ではないかと。特にリーダーがワイズの事業に参加することができればいい交流になるのではないかと。
- ・ ワイズメンが、もっとYサ事業に参加することが大事ではないかと。例えば、YYYで一体となって新規事業と立ち上げてみるのも面白いのではないかと。

ワイズの新メンバーは、YMCA の理解ができていないので、西日本区の新会長研修会の際実施される YMCA 理解の時間を各クラブで実施してはどうか。

やはりリーダーの OB/OG 会が活動できれば、ワイズとリーダーがお互いに声かけできるのではないかと。

- ・ 色々な事業でワイズとリーダーが交流することが大事。

例えば、ワイズメンズクラブ内で、リーダー枠を設け、会費を不要とすることなどを検討してはどうか。

- ② 講演会、グループディスカッションは、大変実りあるものでした。やはり YYY で交流する場をもっと設ける必要があると感じました。リーダーの OB/OG 会を設けるとか、リーダーをクラブの例会に呼ぶとか、実現できそうな方法はどんどん実施してもらえばいいと思います。

③ グループディスカッションとその発表の後は、松崎から閉会の挨拶をして、今年度の京都部 YYY フォーラムは閉会となりました。

ご協力して下さった皆様、参加して下さった皆様、ありがとうございました。

3 以下、京都部 YYY フォーラムの様子を写真でお伝えします。



川上京都部部による開会の挨拶



人見西日本区 Y サ・ユース事業主任の挨拶



安田良平様の講演



講演を聴く YYY の皆様



グループディスカッションの様子



グループディスカッションの様子その 2

## 阪和部 YYY フォーラム報告

Yサ・ユース事業主査 大東義文

3月23日(土)、大阪南YMCAでYYYフォーラムが開催されました。出席者数はYMCAスタッフ、OBOGを含めたユースリーダー、ワイズ合計56人。司会は大阪YMCA学院スタッフでリーダーOGの宮本茉奈さん、和歌山YMCAのちやリーダー(浅沼由梨香さん)と大阪泉北クラブの正野ワイズ。一昨年、昨年のYYYフォーラムを踏まえ、「ワイズとYMCAとリーダーOBOGと一緒に活動できるクラブを作ろう」をメインテーマにプログラムは進行しました。



最初に基調講演として、元アジア太平洋YMCA同盟総主事で現在宇都宮ワイズメンズクラブの会長としてご活躍の山田公平氏からお話をいただきました。横田阪和部長の肝いりです。事前に今回の主旨をお伝えしていただいたので、沿った内容でまとめていただき、とてもわかりやすく参加の皆さんに伝わった講演でした。

続いて、学生YMCA(学Y)をご紹介します。YMCAスタッフで名古屋東海クラブ所属の鈴木さんと京都大学YMCAシニアの八十川還さんにわかりやすく伝えていただきました。私たちはYMCAのリーダーを知っていても学Yは身近ではありません。今回を機に、接点を深め、応援できればと願います。

YYYフォーラムも半ばに差し掛かり、リーダーOBOGの登場です。昨年も実現しましたが、阪和部のYYYフォーラムでは、リーダーOBOGにお越しいただくことが、他ではない特長だと思います。今回は、司会もお願いしました宮本茉奈さん、そして新しく富山にワイズメンズクラブを起ち上げた大阪南YMCAのリーダーOB、清水淳さん(現とやまクラブ会長)、奈良YMCAリーダーOBで社会人として東京でご活躍の延壽寺海人(えんじゅじかいと)さん、そして中西部、土佐堀クラブメンバーで大阪土佐堀YMCAリーダーOGの丹吾礼(たんご)さんにご参加いただきました。それぞれがリーダー時代とOBOGとしての思いを披露。YMCAを愛する気持ちが伝わり、後日、皆さんからお褒めをいただく企画となりました。



時間が押し、グループ討議の時間は縮小しましたが、最後に奈良YMCAの三枝隆総主事に「スリースターワイズメンズクラブ」への思いを語っていただきました。一昨年のYYYフォーラムで、阪和部が関係する大阪・奈良・和歌山にワイズとYMCA、リーダーがともに活動するワイズメンズクラブを作ろうと提言していただいたのが三枝総主事です。その

総まとめとしてご登場いただきました。YYY フォーラムを通じて思いをひとつとするクラブが誕生することを願うばかりです。夢の実現は「阪和部将来構想委員会」へ引き継がれていきます。



最後に人見晃弘 Yサ・ユース事業主任より講評をいただき、YYY フォーラムは終了しました。西日本区から託された支援金を有効活用できた YYY フォーラムだと確信し、阪和部 Yサ・ユース事業主査として報告を終えます。